

第5章 調査結果のまとめ

調査結果のまとめ

(1) 回答者の属性

□世帯の状況

回答者の世帯の状況は、「単身（一人世帯）」が10.1%、「夫婦のみ」が27.0%、「親と子（二世帯世帯）」が49.4%、「親と子と孫（三世帯世帯）」が9.9%、その他が2.2%、無回答が1.3%となっている。

平成21年度に実施した市民意識調査における回答者の世帯状況と比較すると、全体の構成比率では大きな違いはみられないが、「単身（一人世帯）」、「夫婦のみ」の世帯が微増、「親と子と孫（三世帯世帯）」、「その他」の世帯が微減となっている。

□居住状況

回答者の居住年数では、21年以上の「長期」が65.6%、6年以上20年以下の「中期」が22.5%、1年以上5年以下の「短期」が9.0%である。

平成21年度に実施した市民意識調査における回答者の居住状況と比較すると、「長期」が微増、「中期」、「短期」が微減となっている。

(2) 伊勢原市のまちづくりについて[37本の施策]

□伊勢原市のまちづくりについて[37本の施策]

現状の満足度について最も評価点が高かった項目は、「安心できる地域医療体制の充実」で、「迅速で適切な消防・救急体制の充実」、「歴史・文化遺産の継承」、「多様な働き方が選択できる保育の充実」、「安全で快適な教育環境の整備」が続いている。

今後の重要度について最も評価点が高かった項目は、「安心できる地域医療体制の充実」で、「地域とともに取り組む防犯対策の推進」、「いざという時の危機対応力の強化」、「被害を最小限に抑える減災対策の推進」、「みんなで取り組む地域防災力の強化」、「迅速で適切な消防・救急体制の充実」が続いている。

一方、評価点最も低かった項目は、現状の満足度では、「交流がひろがる拠点の形成」で、「地域の個性あふれるまちづくりの推進」、「地域を支える商業・工業の振興」が続いている。今後の重要度で最も評価点が低かった項目は、「市民や様々な団体との市民協働の推進」で、「学習成果を生かせる生涯学習の推進」、「地域の個性あふれるまちづくりの推進」、「多様なつながりで支える地域運営の推進」が続いている。

□居住地域別、年齢別では

現状の満足度で全体1位の「安心できる地域医療体制の充実」は居住地域別でもすべての地区からあげられ、2位の「迅速で適切な消防・救急体制の充実」と3位の「歴史・文化遺産の継承」も6地区で上位に位置した。

伊勢原北地区では「伊勢原ならではの観光魅力づくり」が、伊勢原南地区では「いせはらシティセールス」と「伊勢原ならではの観光魅力づくり」が、大山地区では「多様な連携による地域福祉の推進」、「学習成果を生かせる生涯学習の推進」が、比々多地区では

「障害者の地域生活支援の充実」が、成瀬地区では「都市の機能を高める基盤施設整備の推進」が他の地区とは異なる満足項目として上位に位置した。

年齢別では、18～29歳と30～39歳で「高齢者の地域生活支援の充実」が、30～39歳では「みんなで取り組む地域防災力の強化」が、60～69歳では「子育て家庭への支援の充実」が他の年齢層とは異なる満足項目として上位に位置した。

今後の重要度で全体1位の「安心できる地域医療体制の充実」と5位の「みんなで取り組む地域防災力の強化」はすべての地区からあげられ、2位の「地域とともに取り組む防犯対策の推進」と3位の「いざという時の危機対応力の強化」も6地区で上位に位置した。大山地区では「高齢者の地域生活支援の充実」が、比々多地区と大田地区では「子育て家庭への支援の充実」が他の地区とは異なる重要項目としてあげられている。

年齢別では、18～29歳と30～39歳で「子育て家庭への支援の充実」が他の年齢層とは異なる重要項目として上位に位置した。

□満足度と重要度の相関に関して

項目ごとに相関図における領域の変化を一覧にまとめた。前計画の「いせはら21プラン後期基本計画」は施策の本数が75本に対して、現行の「第五次総合計画」では37本にまとめている。

【ニーズ充足領域に関して前回調査から変化した項目】

比較可能な項目では「障害者の地域生活支援の充実」、「多様な働き方が選択できる保育の充実」、「伊勢原ならではの観光魅力づくり」は前回調査からニーズ充足領域（B）に変化した項目である。

一方、「多様な連携による地域福祉の推進」、「低炭素・循環型社会の構築」は前回調査のニーズ充足領域（B）から他の領域に変化した項目である。また、参考程度となるが、「自ら取り組む健康づくりの推進」は前回調査の4項目が該当し、うち3項目がニーズ充足領域（B）であったが、今回調査では現状維持領域（C）に、「子育て家庭への支援の充実」は前回調査の4項目が該当し、うち3項目がニーズ充足領域（B）であったが、今回調査では優先的課題領域（A）に変化した。

ニーズ充足領域（B）に関連しない項目では、「交流がひろがる拠点の形成」、「公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進」は前回調査の優先的課題領域（A）から選択的課題領域（D）に、「互いに尊重し合うまちづくりの推進」、「多様なつながりで支える地域運営の推進」は前回調査の現状維持領域（C）から選択的課題領域（D）に変化した項目である。

一方、「地域特性を生かした新たな産業基盤の創出」は前回調査の選択的課題領域（D）から現状維持領域（C）に変化した。

領域A：重要度が高く満足度が低い（優先的課題領域）

領域B：重要度、満足度ともに高い（ニーズ充足領域）

領域C：重要度が低く満足度が高い（現状維持領域）

領域D：重要度、満足度ともに低い（選択的課題領域）

※平成27年度調査欄で太字になっている項目は、直接的な比較が可能な項目（1項目に対して1項目、あるいは項目数は異なるが前回の領域がD/D/Dのように同じもの）で変化があったもの

「第5次総合計画前期基本計画」と「いせはら21プラン後期基本計画」の関連施策一覧

◇平成27年度調査

◇平成21年度調査

第5次総合計画前期基本計画(施策37本)			
	領域	平満均足点度	平重要点度
暮らし力(誰もが明るく暮らせるまち)			
健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			
生涯にわたって健康にらせるまちをつくる			
01 自ら取り組む健康づくりの推進	C	0.39	1.17
02 安心できる地域医療体制の充実	B	0.96	1.67
みんなで支え合う福祉のまちをつくる			
03 多様な連携による地域福祉の推進	A	0.32	1.29
04 高齢者の地域生活支援の充実	B	0.41	1.36
05 障害者の地域生活支援の充実	B	0.45	1.33
子どもの成長をみんなで見守るまちづくり			
子どもを産み育てやすいまちをつくる			
06 子育て家庭への支援の充実	A	0.31	1.48
07 多様な働き方が選択できる保育の充実	B	0.52	1.42
子どもや若者の成長と自立を支えるまちをつくる			
08 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	B	0.37	1.31
人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり			
子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる			
09 きめ細やかな教育の推進	B	0.36	1.37
10 安全で快適な教育環境の整備	B	0.52	1.25
いつまでも学び生きがいもてるまちをつくる			
11 学習成果を生かせる生涯学習の推進	D	0.29	0.65
12 歴史・文化遺産の継承	C	0.58	0.93

安心力(地域で助け合う安全で安心なまち)			
	領域	平満均足点度	平重要点度
災害に強い安全なまちづくり			
災害から市民のいのちを守るまちをつくる			
13 みんなで取り組む地域防災力の強化	B	0.44	1.57
14 いざという時の危機対応力の強化	B	0.33	1.60
15 被害を最小限に抑える減災対策の推進	A	0.12	1.58
暮らしの安心がひろがるまちづくり			
暮らしの安全を守るまちをつくる			
16 地域とともに取り組む防犯対策の推進	B	0.35	1.61
17 迅速で適切な消防・救急体制の充実	B	0.80	1.54
一人ひとりが大切にされるまちをつくる			
18 互いに尊重し合うまちづくりの推進	D	0.22	1.07

いせはら21プラン後期基本計画(優先施策75本)			
	領域	平満均足点度	平重要点度
111 生涯にわたる健康づくりの推進	B	0.28	1.20
112 疾病・予防対策の推進	B	0.20	1.34
113 地域における健康づくり活動への支援	C	0.18	0.92
115 医療保険制度改革への対応	B	0.15	1.68
116 地域保健医療体制の充実	B	0.20	1.50
311 救急医療体制の充実	B	0.26	1.72
121 地域福祉の推進	B	0.21	1.45
114 生きがいづくりの支援	B	0.09	1.30
122 介護保険サービスの充実	A	-0.14	1.58
123 介護予防活動の推進	B	0.12	1.47
211 生涯現役・地域社会参加の推進*	D	0.03	0.70
331	C	0.12	0.85
124 障害者の相談支援の充実	A	0.20	1.26
131 育児支援家庭訪問の充実	B	0.05	1.39
132 子どもの成長に応じた相談支援機能の充実	B	0.13	1.28
133 子育て交流・グループの育成	B	0.18	1.27
135 育児家庭の経済的支援・働きやすい環境整備	A	-0.19	1.39
134 保育環境・保育サービスの充実	A	-0.05	1.34
235 子どもの安全な遊び場づくり	A	-0.06	1.33
236 青少年の健全育成	B	0.15	1.18
231 子どもの学ぶ力を育む環境づくり	B	0.09	1.29
232 いじめや不登校のない学校づくり	A	0.06	1.48
233 安心・快適な学校施設への改善	B	0.10	1.36
234 学校における食育の推進	C	0.15	1.14
212 生涯学習活動の支援	D	0.03	0.70
213 スポーツ・レクリエーション活動の支援	D	-0.06	0.74
221 地域文化の継承・振興	C	0.35	0.88
222 歴史・文化遺産の活用と魅力発信	D	0.07	0.51
223 大山阿夫利文化の再発見	C	0.40	0.77
321 地震などの防災対策の強化	B	0.18	1.64
323 防災公園・緑地の確保	B	0.15	1.41
322 公共建築物の耐震化の推進	A	-0.00	1.60
324 風水害対策の推進	B	0.09	1.49
313 地域ぐるみの防犯体制づくり	B	0.45	1.53
312 消防施設・資器材の整備	B	0.64	1.47
315 人権と平和を尊重するまちづくり	C	0.25	1.07

◇平成27年度調査

第5次総合計画前期基本計画(施策37本)			
	領域	平満均足点	平重均要点
活力(個性豊かで活力あるまち)			
産業の活力があふれる元気なまちづくり			
地域の産業が盛んなまちをつくる			
19 地域を支える商業・工業の振興	D	-0.10	0.95
20 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	D	0.21	1.07
多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる			
21 伊勢原ならではの観光魅力づくり	B	0.48	1.23
22 いせはらシティセールスの推進	C	0.42	0.78
都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり			
都市の骨格を支えるまちをつくる			
23 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	C	0.37	1.05
24 交流がひろがる拠点の形成	D	-0.31	1.12

都市力(住み続けたい快適で魅力あるまち)			
自然と調和した住みよいまちづくり			
愛着のある美しいまちをつくる			
25 地域の個性あふれるまちづくりの推進	D	-0.20	0.65
26 生活環境美化の推進	A	0.29	1.23
みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる			
27 自然共生社会の構築	C	0.34	1.11
28 低炭素・循環型社会の構築	C	0.38	1.09
快適で暮らしやすいまちづくり			
安全で円滑な移動ができるまちをつくる			
29 バリアフリー対策の推進	A	0.17	1.44
30 移動しやすい交通対策の推進	A	0.21	1.26
便利で機能的なまちをつくる			
31 都市の機能を高める基盤施設整備の推進	A	0.32	1.20
32 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	D	0.24	1.19

自治力(みんなで考え行動するまち)			
市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり			
地域の力が発揮できるまちをつくる			
33 市民や様々な団体との市民協働の推進	D	0.26	0.62
34 多様なつながりで支える地域運営の推進	D	0.26	0.69
35 市民に身近な市役所づくり	C	0.44	1.04
次代へつながる確かな行政運営ができるまちをつくる			
36 健全で安定した財政運営	A	0.03	1.36
37 市民に信頼される市政の推進	D	0.27	1.16

◇平成21年度調査

いせはら21プラン後期基本計画(優先施策75本)			
	領域	平満均足点	平重均要点
316 雇用環境の向上	A	-0.25	1.42
411 賑わいある商業地の形成	D	-0.50	1.01
413 技術開発・起業の支援	D	-0.06	0.65
423 地産地消の推進・地場製品のPR	C	0.32	1.16
424 農業生産基盤の整備	D	0.05	0.98
425 やまの保全と林業基盤の整備	C	0.09	1.13
622 暮らしを彩る"森"や"農"の保全	C	0.14	1.04
421 「伊勢原ならではの」の魅力創出	D	-0.14	1.08
422 観光施設の整備	D	0.00	1.07
412 産業集積の新たな展開	D	-0.19	0.75
511 山麓みらい広域交流拠点の形成	D	-0.25	0.78
512 伊勢原駅周辺のまちづくりの推進	A	0.06	1.25

513 愛甲石田駅周辺のまちづくりの推進	C	0.10	0.80
621 計画的な土地利用の推進	D	0.02	0.90
614 清潔で美しい生活空間づくり	A	0.02	1.37
611 環境にやさしいライフスタイルの構築	A	-0.02	1.18
613 生活環境対策の推進	B	0.13	1.34
623 水と花と緑のふるさとづくり	C	0.13	1.12
612 温暖化防止対策の推進	B	-0.13	1.25
615 ごみ減量化・リサイクルの推進	B	0.32	1.40
714 バリアフリーのまちづくり	A	-0.07	1.34
314 交通安全・放置自転車対策の推進	A	0.02	1.59
713 鉄道輸送・バス交通対策	D	-0.03	1.16
711 地域をつなぐ幹線道路づくり	C	0.09	0.92
712 生活道路の改善	A	-0.38	1.33
715 生活排水の適正処理の推進	B	0.08	1.45
716 下水処理場の処理機能拡充と周辺環境対策	B	0.40	1.21
834 施設の再生と修復期への着実な移行	A	0.08	1.24

332 市民活動の輪を拡げるための環境づくり	C	0.11	0.57
821 市民参加の拡大	D	0.05	0.89
822 市民協働の推進	D	-0.01	0.67
333 身近なコミュニティ活動の拠点づくり	C	0.22	0.64
811 広報活動の強化	C	0.33	1.09
812 広聴活動の拡充	D	0.00	0.87
813 アカウンタビリティの向上	C	0.08	0.99
833 電子市役所の構築	C	0.08	1.07
832 健全な財政運営の確保	A	-0.37	1.59
831 行財政改革の推進	A	-0.28	1.31
835 広域行政の推進	B	0.28	1.41

(3) 市民意識調査結果の考察

今回の市民意識調査の結果のうち、現状の満足度が高かった施策と低かった施策を中心に推察される市民の評価と、今後の施策展開に向けての考察をまとめる。

□ 暮らし力 — 誰もが明るく暮らせるまち

施策「2 安心できる地域医療の充実」は、37本の施策中で満足度、重要度ともに最も高い結果となり、前回調査との比較では、満足度が大幅に向上していることから市民の医療ニーズを市域内で満たすことができる医療環境に恵まれていること、更には、伊勢原協同病院の移転新築支援の取組等が一定の評価を受けていることが推察される。

施策「4 高齢者の地域生活支援の充実」、「5 障害者の地域生活支援の充実」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、少子高齢社会に対応した様々な福祉サービスの充実が一定の評価を受けていることが推察される。

施策「7 多様な働き方が選択できる保育の充実」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、病児・病後児保育等の保育サービスの充実や、子ども・子育て支援の取組が一定の評価を受けていることが推察される。

施策「10 安全で快適な教育環境の整備」は満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、計画的な施設改修等が一定の評価を受けていることが推察される。

施策「12 歴史・文化遺産の継承」の重要度は平均値より低かったが、満足度は平均値より高くなっており、本市の歴史や文化財を次代に伝え残していく取組等が一定の評価を受けていることが推察される。

その一方で、施策「6 子育て家庭への支援の充実」の重要度は平均値より高かったが、満足度は平均値より低くなっており、子どもを産み育てやすい環境のまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

救急体制、医療機関は素晴らしいと感じている。
高齢者の知識経験を社会に活かす仕組みが必要と考える。
児童コミュニティクラブの対象学年が引き上げられたことは、評価できる。
病児保育機関があるのはとても心強く、良いと思う。病児保育の受入人数を増やして欲しい。
子育て支援が他の市町村に比べて遅れていると感じる。(例えば小児医療費など)

□ 安心力 — 地域で助け合う安全で安心なまち

施策「13 みんなで取り組む地域防災力の強化」、施策「17 迅速で適切な消防・救急体制の充実」が、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、大規模地震や集中豪雨など、市民の生命や生活に影響する大規模な自然災害に対する不安感の表れと、本

市の防災教育や防災訓練等による地域の防災力の強化や、消防・救急体制の充実・強化の取組が一定の評価を受けていることが推察される。

その一方で、施策「15 被害を最小限に抑える減災対策の推進」は重要度が平均値よりも高いが、満足度は平均値よりも低い結果となった。更なるライフラインの計画的な耐震化や、土砂災害・浸水対策を推進するなど、自然災害による被害が最小限に抑えられるまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

防犯パトロールには感謝している。
防犯灯が少ない。街灯を明るくすべき。
防災対策は市だけでは限界がある。各自による食料確保等の必要性を市民にきちんと伝達していくことが大切だと思う。
川沿いに住んでいるが、台風または大雨の際には川の水が増し、度々不安でならない。

□ 活力 — 個性豊かで活力あるまち

施策「21 伊勢原ならではの観光魅力づくり」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果であり、前回調査と比較すると満足度、重要度ともに高くなっている。ここからは、歴史的観光地「大山」の地域ならではの魅力等を活用した「平成大山講プロジェクト」の推進による観光振興の取組が一定の評価を受けていることが推察される。

施策「22 いせはらシティセールスの推進」については、重要度は平均値よりも低かったが、満足度は平均値よりも高い結果となった。ここからは、市の公式イメージキャラクター「クルリン」の導入、イベントへの積極的な参加等によるシティプロモーションの取組が一定評価を受けていることが推察される。

その一方で、施策「19 地域を支える商業・工業の振興」、「24 交流がひろがる拠点の形成」は、満足度、重要度ともに平均値よりも低い結果となっている。また、施策「24 交流がひろがる拠点の形成」は前回調査との比較でも満足度が低下していることから、本市の中心拠点である伊勢原駅周辺地区については、商業の集積や交通の結節点として、市内外から多くの人が集う玄関口にふさわしい、賑わいのある拠点の形成を図る等、魅力あるまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

伊勢原の大山は市民の誇りであり、観光を含め大いに発展して行ってほしい。
大山、日向薬師、伊勢原北インターと推し進め、更なる活性化を望む。
伊勢原市に海はないが山があり、梨やぶどうを中心に果物もおいしい。さらに盛り上げて、「住みやすい」、「外の人に来てみたい」という観光市になってほしい。
伊勢原市もイメージキャラクター「クルリン」が市のPRとして活躍し始め、喜ばしい事だと思う。

伊勢原の中心たる市街が眠っている。まるでシャッター通りのように感じるので、かつて大山参りで栄えたように活気を取り戻してほしい。

伊勢原駅前北口整備計画を早く推進してほしい。

□ 都市力 － 住み続けたい快適で魅力あるまち

施策「25 地域の個性あふれるまちづくりの推進」が、満足度、重要度ともに平均値よりも低い結果となっている。本施策は、前回の調査からの経年変化を見ても他の施策と比べ相対的な重要度は低くなる傾向にあるが、市民の満足度の向上を図るため、地域の特性や資源をまちづくりに生かすなど、地域への愛着を高め、誰もが住み続けたいと思えるまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると思われる。

また、施策「29 バリアフリー対策の推進」、施策「30 移動しやすい交通対策の推進」は、重要度は平均値よりも高かったが、満足度は平均値よりも低い結果となっており、超高齢社会の更なる進展等を見据え、安全で円滑に移動できるまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

もっと「伊勢原らしさ」のある「まちづくり」をすべき。

伊勢原のシンボルである大山を大切に景観を壊さないやり方で街づくりを進めてほしい。
--

通学路を整備してほしい。

本市も高齢化社会の到来に対してバリアフリーの推進を考慮すべき。

□ 自治力 － みんなで考え行動するまち

施策「35 市民に身近な市役所づくり」は、重要度は平均値よりも低かったが、満足度は平均値よりも高い結果となっており、本市の市政に関する情報の共有化や透明性の高い市役所づくり等の取組が一定の評価を受けていると推察される。

その一方で、施策「36 健全で安定した財政運営」は、満足度、重要度ともに平均値よりも低い結果となっており、社会環境や市民ニーズの変化などに柔軟に対応した確かな行政運営ができるまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

以前に比べて市政、まちづくりについて良くなっていると感じるが、財政運営をより効率的にバランス良くすべき。
--

限られた財政状況の中で本当に必要なところには十分に配分し、無駄な物をできる限り洗い出し、メリハリのある使い方をすべき。

少子高齢、人口減少社会が進展する中、「自助・共助・公助」の自治意識が重要だと思う。
